

	R5年度の障がい等地域支援ブロック会議	R6年度の専門部会に向けた予定			
	進捗状況	部会の目的	開催頻度	参加者	内容
相談支援	<p>5月、8月、11月開催</p> <p>参加事業所 実41 延 75名</p> <p>参加者 実63 延100名</p> <p>※5月は相談支援以外の参加あり(全部門に案内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相談支援(相談員)の現状・課題として、相談員が相談し合える関係、困難ケース等のサポート体制、相談員の育成の仕組み等に課題があり、相談支援部会に、相談員へのサポート体制としての役割が必要。</li> <li>日頃の相談・支援活動の中での課題等を事前に収集し、課題の共有、情報交換、課題解決に向けたグループワーク等を実施。相談支援部会設置に向けて取組みを進めている。</li> </ul>	<p>①地域課題の共有・集約・検討</p> <p>②相談支援関係者の連携体制の構築</p> <p>③相談支援関係者の質の向上</p>	<p>①定例会 1回/2か月(月の中・下旬の午後)</p> <p>②研修会・事例検討会 : 年2回程度</p>	<p>相談支援事業所、障害者就業・生活支援センター、生活相談サポートセンターの相談員</p> <p><b>(原則全事業所参加)</b>: 参加者の選出は各事業所に一任)</p>	<p>①個別支援事例の共有(困難ケースの対応方法や経験知の共有: 成功例・課題・苦勞した点など)</p> <p>②社会資源等の情報交換・情報共有</p> <p>③共有した情報・課題についての協議</p>

	R5年度の障がい等地域支援ブロック会議	R6年度の専門部会に向けた予定			
	進捗状況	部会の目的	開催頻度	参加者	内容
地域生活	<p>7月、10月開催</p> <p>参加事業所 実38 延74</p> <p>参加者 実54名 延94名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域生活に関わる支援者からの課題を集め、共有。たくさん出た課題を分野別にまとめて整理・集約し、それをもとに意見を深めた。</li> <li>・2月開催時、来年度の地域生活部会の設置に向けて、今後の進め方として、どの課題を重点的に取り組んでいくか、また課題によってグループ分けするか等を検討する予定。</li> </ul>	<p>①地域（在宅）、施設・グループホーム、病院等での生活の課題を集め、参加者で共有。</p> <p>②課題を共有し、地域全体の共通の課題として提案するかどうか検討。</p> <p>③事業所・関係機関同士の連携の強化や必要な知識の向上・情報共有等、研修会等全体的なスキルアップを図る。</p>	<p>①定例会：1回/2～3か月（月の下旬の午後）</p> <p>②研修会、ワーキンググループ、事業所種別毎の集い、地域包括支援センターや民生委員との交流等必要時開催</p>	<p>通所系事業所、入所系事業所、居宅介護事業所、医師会、薬剤師会、訪問看護、社会福祉協議会、精神科病院連携室、健康福祉センター、相談支援事業所、障害関係団体、市関係課</p> <p>※内容によって協議に必要な参加者を追加</p>	<p>①障害者の地域生活に関する現状把握、課題の抽出・共有</p> <p>③困難事例（強度行動障害がある人、医療行為が必要な人、犯罪傾向の強い人、依存症の人等）への対応についてスキルアップのための事例共有や研修会開催</p> <p>③各事業所・関係機関の機能について知る機会を持ち、リソースの有効活用を検討</p>

	R5年度の障がい等地域支援ブロック会議	R6年度の専門部会に向けた予定			
	進捗状況	部会の目的	開催頻度	参加者	内容
いじめ支援	<p>6月、8月開催</p> <p>参加者事業所：実34 延51</p> <p>参加者：実40名 延71名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者からの課題提案で「複数の事業所等を利用する際の共通支援ツールの必要性についての検討。</li> <li>・各事業所で利用している、視覚支援ツール、支援方法の共有を実施。</li> <li>・会議での検討を通じて、まずは障害特性の共通理解、障害特性に応じた支援、アセスメント能力の向上と関係機関の現状や仕組み・役割等を知ることから始めていくことが必要ということになった。今年度は研修会、情報交換会を実施予定。</li> <li>・次年度以降もこども支援部会として同様の取り組みを継続予定。虐待や要保護児童関係等についての事業所の参加についての意見もあったが、別の協議会、実務者会議があることから、まずは障害福祉に関する内容、事業所を主体としていく予定。</li> </ul>	<p>①障害児支援関係機関同士の顔の見える関係づくりからネットワークの構築</p> <p>②障害児支援に関する現状・課題の共有、集約、検討</p> <p>③障害児支援関係者の質の向上</p>	<p>① 定例会</p> <p>1回/2～3か月（長期休暇は避ける）</p> <p>②研修会：年2回程度（スクラム宇部の研修等を活用予定）</p>	<p>児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所、小児リハビリ実施医療機関、教育関係機関、相談支援事業所の管理者</p>	<p>①各事業所の取組み、情報交換・情報共有</p> <p>②共有した情報・課題についての協議</p> <p>③ミニ勉強会・研修会</p>

	R5年度の障害者就労支援ネットワーク会議	R6年度の専門部会に向けた予定			
	進捗状況	部会の目的	開催頻度	参加者	内容
就 労 支 援	<p>6月開催</p> <p>参加者事業所：実20</p> <p>参加者：実23名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇部市障害者就労支援ネットワーク会議の構成団体及び未加入事業所に今後の体制等についてアンケート調査を実施</li> <li>・アンケート調査の結果から第2回会議（12月開催予定）で、来年度からの体制等について事務局案を提示し協議する予定</li> </ul>	<p>① 障害者の自立と社会参加を図る</p> <p>② 関係機関・団体等が連携し、連絡調整や情報交換を行う</p> <p>③ 障害者雇用への理解と啓発を増進し、障害者の就労を支援する</p>	<p>① 定例会 年3回程度</p> <p>② ワーキンググループ会議 月1回</p>	<p>障害者に係る就労・生活支援を行う教育機関・事業所・施設、市内の企業、商工団体、行政機関</p>	<p>① 情報共有、ニーズや課題、困難事例の協議</p> <p>② 研修会の開催</p> <p>③ 共同受注システムの運営</p>